

最近のタスクフォースの取組状況について

(ICT地域振興タスクフォース)

「ICT利活用による地域振興に資する新たなビジネスモデルの構築」・・・1

(多分野連携研究推進タスクフォース)

「信州農業を革新する技術開発の推進」・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

(健康づくり産業振興タスクフォース)

「『健康』×『サービス』×『観光』×『食』×『ものづくり』
先導的モデルづくり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

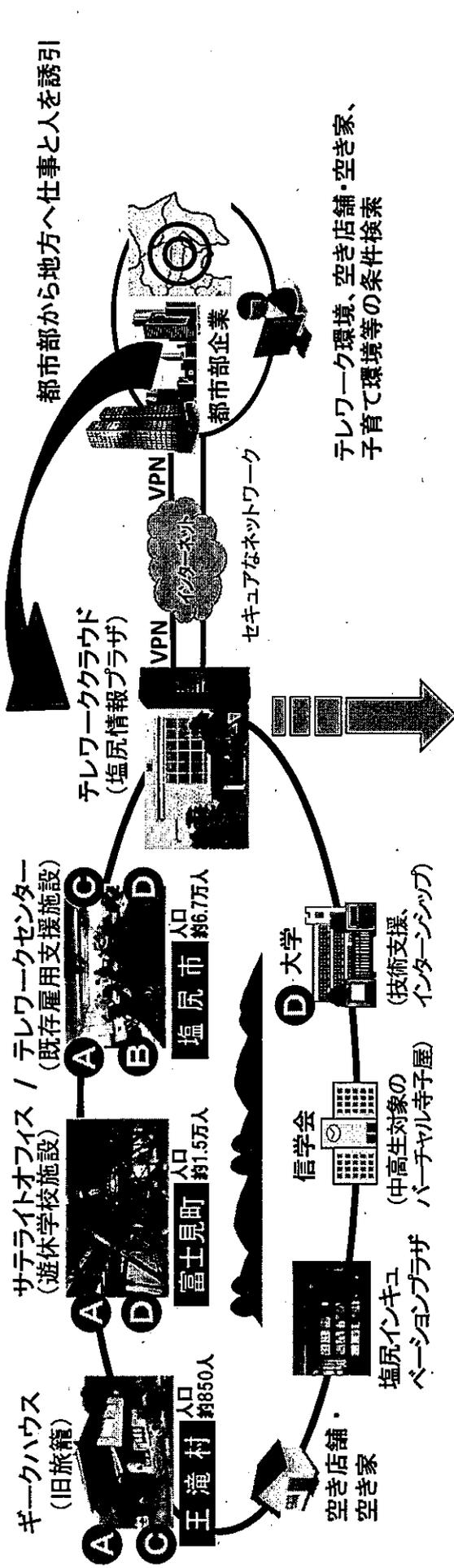
ICT地域振興タスクフォース

H27.6.24
企画振興部情報政策課

住みよいい信州×わーく2プロジェクト

[提案中]総務省「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」

提案者	(一財)長野経済研究所、長野県(企画振興部、産業労働部)、塩尻市、富士見町、王滝村 ほか		
モデル類型	類型A、類型B、類型C、類型D	公募区分	互いに連携する複数市町村への拠点設置
実施地域	塩尻市、富士見町、王滝村	事業費	1.5億円
事業概要	<p>人口規模の異なる3市町村が、それぞれの実情に応じた施設において、一元化されたクラウド基盤におけるバーチャルオフィスと生活直結サービスを共同利用するテレワークの仕組みを構築し、距離や時間を克服して、都市部の仕事をそのまま地方で続けられることを実証することにより、他の市町村へのテレワークの普及展開を促し、都市部から地方への人と仕事の誘致を実現する。</p>		



バーチャルオフィス	生活直結サービス
データ解析(ソフトウェア作成等の業務支援)	防災情報伝達(安全・安心の確保)
雇用情報共有(仕事の分配・管理)	遠隔教育(子供の学習支援)
マッチング(仕事の環境・空き店舗等の検索)	地域コミュニケーション(バーチャル公民館)

クラウドサーバの一元化によるコスト抑制	ふるさとテレワークの4類型全てを実施
	A 都市部の企業が、本社機能の一部を移転
	B 子育てや介護を理由に、地方でテレワークで勤務を継続
	C 個人事業主又は起業により、都市部の仕事を受注
	D 都市部の企業が、地方の人材を新規雇用

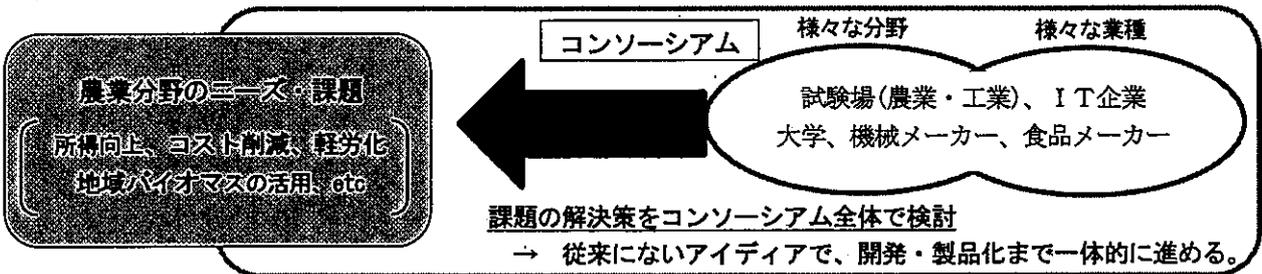


信州農業を革新する技術開発の推進

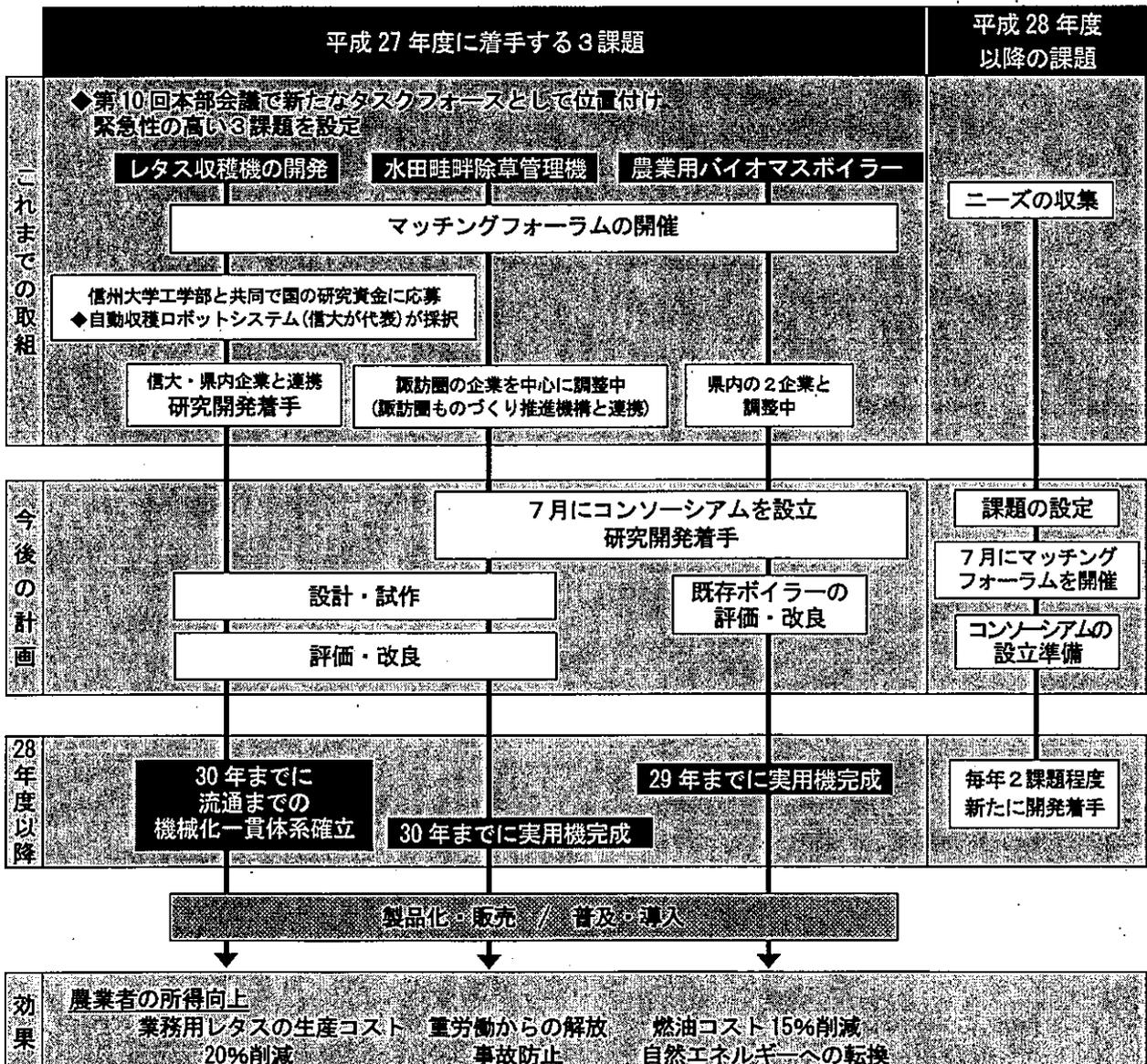
農政部(農業技術課、園芸畜産課)
産業労働部(ものづくり振興課)
林務部(県産材利用推進室)

めざすところ

農業における課題の解決策を様々な分野・業種によるコンソーシアムで検討することにより、従来にないアイデアで技術開発を進め、製品化まで一体的に行う。



経過と今後の計画



健康づくり産業振興タスクフォースの取組状況

産業労働部（産業政策課、サービス産業振興室、ものづくり振興課）

観光部（観光誘客課）

林務部（信州の木活用課）

1 長野県次世代ヘルスケア産業協議会の設立

- 第 11 回産業イノベーション推進本部会議で、長野県の強みを活かしたヘルスケア産業の振興に向けた取組を加速化するため、「健康づくり産業振興タスクフォース」と、「医療・福祉機器産業振興タスクフォース」を統合。
- 健康長寿県の更なる前進を目指すため、「長野県次世代ヘルスケア産業協議会」を平成 27 年 3 月 23 日に設置。
- 協議会に、「健康」×「サービス」、「健康」×「観光」、「健康」×「食」、「健康」×「ものづくり」の 4 つの分科会を設置し、事業内容を検討。
- ヘルスケア産業の振興を、平成 27 年 3 月に策定した「長野県サービス産業振興戦略」の 3 つの重点軸の一つとして位置づけ。
- 協議会の概要は、別紙 1 参照。

2 経済産業省「平成 27 年度健康寿命延伸産業創出推進事業」への提案

- 4 つの分科会で検討した事業を、前記協議会で経済産業省の公募事業に提案した結果、6 月 8 日付けで採択候補先に選定。
- 全国で 61 件の応募中、27 件が採択候補団体に選定。松本市での取組も選定されており、同一県から 2 団体の取組が選ばれたのは長野県のみであり、高い評価をうけている。
- 今後は、松本市で行う事業とも連携を図りながら、詳細の実施計画について国と協議の上、委託契約を締結し、積極的に事業を展開していく。
- 具体的な実施事業等は別紙 2 参照。

長野県次世代ヘルスケア産業協議会の概要

1 設置目的

「長野県次世代ヘルスケア産業協議会」を設置し、「信州ACE（エース）プロジェクト」や国の「次世代ヘルスケア産業協議会」とも連携することにより、県内各地における健康長寿の強みを活かした産業創出等を推進する取組を加速化し、地方創生の視点も踏まえて、県内における健康産業の振興を図ると共に、健康長寿県の更なる前進を目指す。

2 参加団体

(1) 地域で取組みを実践している団体等

長野県次世代ヘルスケア産業協議会 会員名簿

平成 27 年 3 月 23 日現在
(団体等 50 音順・敬称略)

社会医療法人財団慈泉会相澤病院	長寿の里「佐久」プロジェクト
飯田メディカルバイオクラスター	一般社団法人長野県経営者協会
伊那谷アグリイノベーション推進機構	一般財団法人長野経済研究所
ザ・ウォーキング	公益財団法人長野県中小企業振興センター
国立大学法人信州大学	公益財団法人長野県テクノ財団
信州メディカル産業振興会	株式会社八十二銀行
一般社団法人信州・長野県観光協会	認定NPO法人びすけっと
NPO法人諏訪圏ものづくり推進機構	松本地域健康産業推進協議会
全国健康保険協会長野支部	社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会
一般社団法人地域ケア総合研究所	長野県

(2) 県は関係部局が連携

企画振興部、健康福祉部、観光部、農政部、林務部、産業労働部の 16 課（室）

3 協議会の構成

○役員

会 長 花岡清二（一般社団法人長野県経営者協会 技術技能委員会 委員長）
副会長 三浦義正（国立大学法人信州大学理事・副学長）
石原秀樹（長野県産業政策監兼産業労働部長）

○事務局

一般社団法人長野県経営者協会、国立大学法人信州大学、長野県
（産学官による共同設置）

協議会：長野県次世代ヘルスケア産業協議会

実施地域：長野県内

健康長寿世界ー！ヘルスケア産業創出事業

代表団体：一般社団法人長野県経営者協会

参加団体：一般財団法人長野経済研究所、一般社団法人信州大学
信州いいやま観光局、国立大学法人信州大学

事業概要

目的 長寿長野県における健康課題は「健康寿命」の延伸。その地域課題の解決につなげると共に、地方創生の視点も踏まえ、県内における健康産業の創出・振興を図り、健康長寿県の更なる前進を目指す。

内容 ①小規模企業健康増進モデルの構築、②森林セラピー基地を核とした宿泊観光等の促進、③開発食品の評価・検証、試験販売の仕組みの構築、④健康機器の評価・分析、活用促進の仕組みの構築

事業全体図

地域課題
・長野県民の「日常生活に制限のある期間の平均」は男性9.81年(全国ワースト9位)、女性13.23年(同16位)との報告もあり、生活に支障なく健康で長生きできる「健康寿命」の延伸が喫緊の課題。
・塩分の摂取量が多く、脳血管疾患リスクが高い。

強み
・長野県の平均寿命は男性80.99歳、女性87.23歳でいずれも全国1位。
・県民は総じて健康意識が高い。

サービス

【成果】 小規模事業者の健康投資モデルの構築
医療保険者である協会けんぽ、勤労者共済会、フィットネスクラブ等が連携し、公的保険外サービスを活用した、安価で効果的な健康増進メニューを提供するビジネスモデルを構築。
【主な実施団体】 長野経済研究所、松本市勤労者共済会協会けんぽ、フィットネスクラブ、相澤病院、松本大学、松本地域健康産業推進協議会

観光

【成果】 森林セラピーの効果体験してもらった地域型のモーターズを実施し、県民等に森林を利用した運動習慣を動機づけると共に、森林セラピーの認知度を高めるため、主に県外の方を対象としたモーターズを実施。
【主な実施団体】 信州いいやま観光局、長野県森林セラピー推進協議会、医科学的検証機関、旅行系出版社等観光事業者

相互に

有機的に連携
県内の産学官金民様々な分野の20団体が経集
長野県次世代ヘルスケア産業協議会
(長野県経営者協会)
平成27年3月23日設置

食

【成果】 一般消費者等で構成された評価委員会が食品等を評価し検証する「ピシクラホ」及び小売店等における試験販売を促すための「アストマーケピシクラホ」を構築。
【主な実施団体】 長野県経営者協会、いわせ信州食品開発センター、飯田産物加工センター、伊那谷アグリパーク推進機構、食品関係事業者、スーパーストア等の小売店

ものづくり

【成果】 試作、製品化されたヘルスケア関連機器等の実証効果等を評価・分析する「ピシクラホ」及び具体的な商品を選定し、「見える化」した機器群の様々なPR方法やビジネスモデルを評価するための「アストマーケピシクラホ」を構築。
【主な実施団体】 長野県経営者協会、信州大学、中小企業振興センター等の産業支援機関、機器開発企業

助言等支援 連携
国の次世代ヘルスケア産業協議会

情報ノウハウ等
連携

効果
連携

信州ACE(エース)プロジェクト

「健康寿命」の延伸、ヘルスケア産業の創出・振興

松本地域健康産業推進協議会